

大磯の賢人 吉田 茂

駐英大使就任―日独防共協定への抵抗

昭和11年4月、駐英大使に任命された吉田は、6月ロンドンに着任しました。

当時、ドイツはアドルフ・ヒトラー率いる国家社会主義ドイツ労働者党、いわゆるナチスが隆盛を極め、吉田の毛嫌いするムッソリーニによる伊・ファシスト党との接近を進めており、欧州では独伊と英仏との対立が深まりつつありました。

こうした中、日本政府は軍部の圧力もあり、ドイツと防共協定を締結する方針を固めていました。政府は正式決定の前に在外の主な大使と公使から協定の可否について意見を求めたところ、ほとんどが賛成を表明しましたが、ただ一人だけ断固として反対を主張する大使がいました。吉田茂その人です。一步も妥協しない吉田のもとに、駐英大使館付陸軍武官の辰巳榮一や協定の立役者で駐独大使館付陸軍武官の大島浩が説得に訪れました。

協定は防共すなわちコミンテルン（共産主義インターナショナル）に対する共同防衛が名目

でした。しかし、協定を「単なる反共というイデオロギーの問題に過ぎない」（『回想十年』第一巻）とする軍部の言い分は表面きに過ぎず、本心は「独伊と組んで英仏、ひいてはアメリカ側に対抗しようとしたものであることは明か」（同）であり、「この枢軸側への加担は遠からず政治的、軍事的なものにまで発展するにきまつており、その勢いの赴くところ、わが国の將來にとつてまことに憂うべきものとなる」（同）と吉田は主張します。

さらに吉田は、枢軸側よりも「世界にまたがる広大な領土と豊富な資源」、「永年にわたって培った政治的、経済力」（辰巳榮一「防共協定と吉田さん」／『回想十年』第一巻所収）をもつ英米側にくくこそ日本のとるべき道だ、と説き、一貫して協定に反対する姿勢を崩しませんでした。

しかし、同年11月日独防共協定は締結され、翌年にはイタリ



▲1936年、日独防共協定に調印するヨアヒム・フォン・リッペンロップ駐英ドイツ大使（右）と武者小路公共駐独大使（左）（写真／Imperial War Museum所蔵 IWM Photo Archive B542 GSA 290）

アも参加し（日独伊防共協定）、遂には日独伊三国軍事同盟へと発展しました。その後、第二次世界大戦が勃発、日本は枢軸国として、英米等を中心とした連合国との戦いへと、吉田の懸念した通りの道を歩んでいきます。吉田は「ディプロマチック・センス」によつて、協定締結後の行く末を完全に見通していたのです。

◎問い合わせ

郷土資料館 学芸員
曾根田 ☎(61) 4700

旧吉田茂邸再建基金寄附者一覧①⑥ (21件:10月13日～11月16日)

11月16日現在、総額 46,397,214 円の寄附をいただきました。ご協力ありがとうございました。

(寄附受付順、敬称略)

氏名 (名称)	住所 (所在地)	寄附金額	氏名 (名称)	住所 (所在地)	寄附金額
東吉野村	奈良県東吉野村	¥10,000	山川 勝久	平塚市	¥5,000
匿名	※※※※※	¥10,000	芳賀町長 豊田 征夫	栃木県芳賀町	¥10,000
匿名	※※※※※	¥50,000	中教育事務所指導課	※※※※※	※※※※※
昭和22年卒国府小学校6年3組クラス会一同	大磯町	¥90,000	植田 光子	長崎県長崎市	¥3,000
匿名	※※※※※	¥30,000	村上 周司	栃木県矢板市	¥5,000
宮本 周治	※※※※※	※※※※※	龍背堂鍼灸院	大磯町	¥10,000
大磯町民ゴルフ大会参加者有志一同	大磯町	※※※※※	社団法人ガールスカウト日本連盟神奈川県第95団	大磯町	¥10,000
大磯町ゴルフ協会	大磯町	※※※※※	平 キヨ	大磯町	¥50,000
上田 久栄	大磯町	¥30,000	匿名	※※※※※	¥10,000
伊藤 平太郎	大磯町	¥30,000	匿名	東京都調布市	¥50,000
尾関 洋典	大磯町	¥10,000			

※ 上記のほか、1名の方からご寄附をいただいております。

◎問い合わせ 都市計画課 ☎内線243